

2021年

# 新春 トップインタビュー

徳島県をリードする企業・団体のトップは  
社会の変化にどう対処するのか。トップ78名が今年を語る。



横に移動し、研究開発の向上と歯科技工物試作品の臨床検査等の連携力を強化。新型コロナウイルス

## 歯科業界のデジタル変革に挑む

株式会社シケン 代表取締役社長 島隆寛氏

全国に営業所を26カ所、オーダーメイドを強みとする技工所を7カ所持ち、入れ歯や差し歯等を製造・販売している株式会社シケン。愛知県にあった子会社である株式会社クエストを、小松島市にある本社

の影は少なからずあるが、かねてより海外での受注や製作物の指導はオンラインで行っていたため、ピンチをビッグチャンスと捉え、県外への移動や打ち合わせ方法等をデジタル化する中で新たな発見を見出すことができた。営業・採用・セミナーのほとんどにオンラインを組み合わせる等、積極果敢に新しい試みに挑戦している。「新型コロナウイルスの影響でデジタル化を強いられたことになったが、結果的に効率的な動きが一気に加速できたように感じる。日々状況が変化の中で、今できることを模索し、試していく中で、効果を見定めながらアプ

ターコロナを見据えた経営を「していきたい」と、島隆寛氏。これまで実現が難しかった初めての試みも実施することができた。産休前の女性営業スタッフが、自宅から歯科医院の院内勉強会で講師を務めるといった在宅営業を可能にした。さらに、会社見学会や新人研修もオンライン化し、SNSの発信等も若手メンバーに一任。次期10年ビジョンを40歳以下のメンバーの意見を基に作成することも進めている。「シケンの無限の可能性を表現したロゴマークにも込められた『創造(Creation)』と『挑戦(Challenge)』のモノづくりに対する基本姿勢を忘れずに取り組みたい」。若手のアイデアを積極的に取り入れる柔軟な社風が、次世代の育成にも繋がっている。

共に成長できる歯科技工所



株式会社 SHIKEN  
本社／小松島市芝生町字西居屋敷55-1  
TEL.0885-32-2000  
<https://www.shiken-jp.com>

企画・制作／徳島新聞社 営業局